



毎年行なわれているシーフードサミットは、世界の水産業界や保全団体の代表らが集まり、持続可能な水産物について議論し合い、プレゼンテーションを行い、人脈を構築するイベントです。シーフードサミットの目的は、環境的、社会的、そして経済的に持続可能な水産物市場へと導く対話とパートナーシップを育むことです。これまでヨーロッパと北米で開催されてきたこのサミットは今年10年目を迎えます。主要プログラムに加えて、サミットの前後にはユニークなフィールドトリップやワークショップなども予定されています。

サミットに参加するのは？

シーフードサミットの参加者は、水産業界の生産者、加工業者、卸業者、バイヤー、小売業者、シェフ、レストラン、保護団体、政治家、学者、メディア関係者など多岐に亘ります。このサミットは、持続可能な水産物の関係者が一堂に会する唯一のイベントです。過去5年間でサミットは急速に拡大し、ここ2年間は登録の締切りの前に定員を上回る状態となっています。

香港で開催されるのはなぜですか？

香港はアジアにおける経済とビジネスの中心地です。またこの地域における水産物取引の拠点でもあり、数多くの有名な水産市場でアジア全域からの水産物が販売されています。さらに、香港は中国への入り口であり、アジアや世界の他の地域から簡単にアクセスできる場所でもあります。

アジアの水産市場に関する重要なポイント

- ・ 全世界の水産養殖のおよそ90%はアジアで行なわれており、その中でも中国は世界の生産量の25%以上を占めています。
- ・ 世界の水産養殖上位10カ国のうち8つをアジアの国々が占めています。
- ・ 世界の海洋および内水漁業上位10カ国のうち6つをアジアの国々が占めています。
- ・ 多くの地域において漁業と水産養殖業は人々の主要な就業先ですが、世界の漁業及び水産養殖部門で働く人々のうち85%はアジアに住んでいます。
- ・ 中国は年間およそ102億USドルを輸出する世界最大の水産物輸出国です。

アジアにおける主要な持続可能性の問題

アジアにおける持続可能な水産物に関する問題には以下のようなものがあります。

- ・ 食の安全 — アジアにおいて魚は主要なタンパク源です。日本では1人当たりの年間消費量が60キログラムを超えていて、持続可能な水産物に関する対策が重要になっています。
- ・ 消費者需要 — この地域では持続可能な水産物はまだ広く浸透していません。アジアの消費者の需要を喚起するためには、持続可能な水産物の重要性をより明確に示さなければなりません。
- ・ 生産と加工 — アジアの供給業者らは持続可能な生産の振興を可能にするツール、管理および経済支援、政策と関係の改善を求めています。
- ・ フカヒレ — フカヒレスープは中国の食文化に深く浸透している伝統料理ですが、フカヒレの採取についてはサメの保護の点で論争が起きています。
- ・ 生きた水産物の売買 — サンゴやその他の魚(淡水、河口、外洋)が生きたまま市場に輸送されていますが、これは10億USドル産業となっています。
- ・ IUU(違法・無報告・無規制)漁業 — 主要な水産物加工地域であるアジアにおいて、法的にも、また食の安全という点からもトレーサビリティは重要な問題となっています。

アジアにおける持続可能な水産物の動向

アジアでシーフードサミットを開催することは、アジアの市場において持続可能な水産物を効果的に広めるための重要なステップです。アジアにおいて持続可能性への関与が高まることは、世界の持続可能な水産物の将来のために極めて重要なことです。

シーフードサミットで展示を行なうことはできますか？

フロアスペースが限られているため、2012年シーフードサミットでは展示スペースが設けられません。しかし、スポンサーシップなどをはじめ、持続可能なビジネスのマーケティングのチャンスはあります。詳細については seafoodsummit@seaweb.org までご連絡ください。

シーフードチョイス(Seafood Choices)について

シーフードチョイスはシーウェブによる国際的プログラムです。世界のシーフード業界からの主導的な意見を集め、結び付けて、対話と協調的行動のための活動的で中立的な場を創出します。

シーウェブ(SeaWeb)について

シーウェブはコミュニケーションという方法を用いて、人と海の関わり方の抜本的転換を行ないます。この重要な目的を達成するために、シーウェブはフォーラムを開催しています。ここでは、経済、政治、社会そして環境の関係者らが海の健康を改善するために集結します。

詳細につきましては以下までご連絡ください：

seafoodsummit@seaweb.org

www.seafoodsummit.org

